４．２　対外的発表

○　学会等における口頭・ポスター発表

１．１　防災教育に対する知識構造的アプローチ

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
地震発生確率とリスク認知―地震動予測地図の認識に関する基礎的検討（口頭発表）	齋藤さやか，関谷直也	地域安全学会第40回研究発表大会（春季），石垣市商工会館【優秀発表賞受賞】（石垣市）	平成29年6月9日	国内
地震予知に関する日本海沿岸部と太平洋沿岸部の住民意識―地震予知、地震動予測地図とリスク認知を中心に（口頭発表）	齋藤さやか，関谷直也，田中淳	第36回日本自然災害学会学術講演会，アオーレ長岡（長岡市）	平成29年9月28日	国内
地震予知に関する日本海沿岸部と太平洋沿岸部の住民意識―想定の周知、表現技法を中心に―（口頭発表）	関谷直也,齋藤さやか，田中淳	第36回日本自然災害学会学術講演会，アオーレ長岡（長岡市）	平成29年9月28日	国内
地震動予測地図をめぐる信頼と構成要素（口頭発表）	齋藤さやか，関谷直也	第30回日本リスク研究学会年次大会（滋賀），滋賀大学彦根キャンパス（彦根市）	平成29年10月29日	国内
地震動予測地図における確率表現と住民意識―地震発生リスクはどのように認識されているか（口頭発表）	齋藤さやか，関谷直也，田中淳	平成29年度京都大学防災研究所研究発表講演会，京都大学宇治キャンパス（宇治市）	平成30年2月21日	国内
地震動予測地図の“確率表現”はどのように認識されているか～ 太平洋沿岸地域と日本海沿岸地域に焦点をあてて～（ポスター発表）	齋藤さやか，関谷直也，田中淳	「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」平成29年度成果報告シンポジウム，東	平成30年3月14日	国内

		京大学武田先端知ビル武田ホール（東京都）		

１．２　沿岸防災手法の工学的評価

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Non-hydrostatic modeling of coastal levee overflows（口頭発表）	T.Shimozono, H. Ikezawa, S. Sato	Coastal Dynamics 2017（デンマーク）	平成 29 年 6 月 15 日	国際

２．１．１　歴史文書・地震記録の調査

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
北海道周辺（日本海・太平洋側）の津波の波源モデル（口頭発表）	佐竹健治	歴史地震・古津波調査に関する札幌研究集会（札幌市）	平成 29 年 11 月 27 日	国内
日本海で発生する地震と津波波源モデル（口頭発表）	室谷智子	歴史地震・古津波調査に関する札幌研究集会（札幌市）	平成 29 年 11 月 27 日	国内

２．１．２　津波堆積物の調査

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
空間分析を用いた津波の挙動復元：福島県南相馬市小高区の平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震に伴う津波堆積物の特徴（口頭発表）	高清水康博，茂野玲，卜部厚志，羽鳥祐香	日本地球惑星科学連合 2017 年大会，予稿集，2017, MIS09-01（千葉市）	平成29年5月	国内
玄界灘～響灘沿岸の海岸低地の沖積層におけるイベント堆積物（口頭発表）	卜部厚志，濱崎真二，小林善也	日本第四紀学会講演要旨集，47, 48-48（福岡市）	平成29年8月	国内
響灘沿岸の海岸低地におけるイベント堆積物（口頭発表）	卜部厚志，濱崎真二，小林善也	日本地質学会第 124 年学術大会講演要旨，R22-O-6	平成29年9月	国内

		（松山市）		
北海道の日本海沿岸で発生した二つの津波の浸水シミュレーションと津波堆積物による検証：1741 年と 12 世紀頃の津波について（口頭発表）	川上源太郎，伊尾木圭衣，栁澤英明，加瀬善洋，仁科健二，小安浩理，谷岡勇市郎	日本地質学会第 124 年学術大会講演要旨，R22-O-5（松山市）	平成 29 年 9 月	国内
津軽半島、十三湖周辺におけるイベント堆積物（口頭発表）	岡田里奈，鍛冶純輝，梅田浩司，鎌滝孝信，石田将貴，内館美紀	平成 29 年度東北地域災害科学研究集会（八戸市）	平成 30 年 1 月	国内
1983 年日本海中部地震津波浸水地域における津波堆積物調査（口頭発表）	内舘美紀，鎌滝孝信，石田将貴，松冨英夫，岡田里奈，鍛治輝，梅田浩司	平成 29 年度東北地域災害科学研究集会（八戸市）	平成 30 年 1 月	国内
北東北日本海沿岸にみられるイベント堆積物とその形成年代（口頭発表）	鎌滝孝信，松冨英夫，梅田浩司，阿部恒平，黒澤英樹	平成 29 年度東北地域災害科学研究集会（八戸市）	平成 30 年 1 月	国内
ロシア沿海州における 1993 年北海道南西沖地震による津波堆積物の面的分布（口頭発表）	西村裕一，RAZJIGAEVA Nadezhda，GANZEY Larisa，菅原大助，高清水康博，LEBEDEV Ilya, BORISOV Ruslan	日本地球惑星科学連合 2017 年大会，予稿集，2017，MIS09-10（千葉市）	平成 29 年 5 月	国内
ロシア沿海州における津波の挙動と堆積物形成の数値解析（口頭発表）	菅原大助，西村裕一，高清水康博，RAZJIGAEVA Nadezhda，GANZEY Larisa，LEBEDEV Ilya, BORISOV Ruslan	日本地球惑星科学連合 2017 年大会，予稿集，2017，MIS09-10（千葉市）	平成 29 年 5 月	国内

1741 年渡島大島での山体崩壊と津波遡上域の数値シミュレーションによる再現（口頭発表）	伊尾木圭衣，柳澤英明，谷岡勇市郎，川上源太郎，加瀬善洋，仁科健二，廣瀬亘，石丸聡	日本地球惑星科学連合 2017 年大会，予稿集，2017，HDS16-11（千葉市）	平成 29 年 5 月	国内
北海道日本海沿岸における津波堆積物と津波履歴（口頭発表）	川上源太郎，津波堆積物調査チーム	地学団体研究会総会プログラム・講演要旨集，71，61-64（旭川市）	平成 29 年 8 月	国内

２．２．１　沖合構造調査

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
地震探査による兵庫～鳥取沖・日本海大和海盆南縁の島弧-背弧海盆域の地殻構造（口頭発表）	佐藤壮，野徹雄，小平秀一，三浦誠一	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 24 日	国内
地震探査による日本海南西部・隠岐トラフ～大和海盆縁辺部の地殻構造（口頭発表）	佐藤壮，野徹雄，三浦誠一，小平秀一	日本地震学会 2017 年度秋季大会（鹿児島市）	平成 29 年 10 月 27 日	国内
北海道西方沖での地殻構造探査（ポスター発表）	野徹雄，佐藤壮，小平秀一，三浦誠一，石山達也，佐藤比呂志	日本地震学会 2017 年度秋季大会（鹿児島市）	平成 29 年 10 月 27 日	国内
「日本海地震・津波調査プロジェクト」による北海道北西沖～石狩湾の地殻構造調査（ポスター発表）	佐藤壮，野徹雄，三浦誠一，小平秀一	ブルーアースサイエンス・テク 2018（横浜市）	平成 30 年 1 月 17 日	国内

２．２．２　海域プレート構造調査

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
レシーバー関数による大和海盆下のリソスフェア構造（ポスター発表）	悪原岳，中東和夫，篠原雅尚，山田知朗，山下裕亮，塩原肇，望月公廣	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 24 日	国内

Lithospheric Structure of the Yamato Basin Inferred from Trans-dimensional Inversion of Receiver Functions（口頭発表）	T. Akuhara, K. Nakahigashi, M. Shinohara, T. Yamada, Y. Yamashita, H. Shiobara, K. Mochizuki	2017 American Geophysical Union Fall meeting（ニューオリンズ）	平成29年12月13日	国際

２．３　沿岸海域および海陸統合構造調査

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
The origin of seismogenic source faults in the back-arc of the Japanese island arcs and their reactivation（口頭発表）	Sato, H., T. Ishiyama, N. Kato, S. Abe, S. Kawasaki, A. Hashima, A. V. Horne, J. Claringbould, M. Matsubara	The 12 th Workshop of the International Lithosphere Program Task Force VI Sedimentary Basins（キプロス）	平成29年10月30日	国際
Styles of active deformation and earthquake behavior of reactivated failed rift: examples from the Toyama trough, the Sea of Japan back-arc basins（口頭発表）	Ishiyama, T., H. Sato, N. Kato, S. Koshiya, M. Matsubara, S. Abe	The 12 th Workshop of the International Lithosphere Program Task Force VI Sedimentary Basins（キプロス）	平成29年10月30日	国際
Transfer fault earthquake in compressionally reactivated back-arc failed rift: 1948 Fukui earthquake (M7.1), Japan.（口頭発表）	Tatsuya Ishiyama, Naoko Kato, Hiroshi Sato, and Shin Koshiya	European Geosciences Union General Assembly 2017（ウィーン）	平成29年4月25日	国際
Onshore-offshore seismic reflection profiling across	Hiroshi Sato, Tatsuya	European Geosciences	平成29年4月28	国際

the southern margin of the Sea of Japan: back-arc opening, shortening and active strike-slip deformation.（ポスター発表）	Ishiyama, Naoko Kato, Shigeru Toda, Shinji Kawasaki, Akira Fujiwara, Yasuhisa Tanaka, and Susumu Abe.	Union General Assembly 2017（ウィーン）	日	
High-resolution seismic profiles of the active wedge thrusts in the Toyama basin, central Japan.（ポスター発表）	Naoko Kato, Hiroshi Sato, and Tatsuya Ishiyama.	European Geosciences Union General Assembly 2017（ウィーン）	平成 29 年 4 月 25 日	国際
Structural evolution of the Tsushima Strait, Southern Sea of Japan, and its role in active faulting.（口頭発表）	Johan Claringbould, Hiroshi Sato, Tatsuya Ishiyama, Naoko Kato, Shinji Kawasaki, Susumu Abe.	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 23 日	国内
2016 年鳥取県中部地震震源域を横切る倉吉-倉吉沖海陸統合地殻構造探査（口頭発表）	佐藤比呂志，石山達也，加藤直子，戸田茂，川崎慎治，阿部進，藤原明，田中康久，Claringbould Johan, Van Horne Anne.	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 24 日	国内
Strike-slip reactivation of regional scale thrust faults with moderate dips.（ポスター発表）	Anne Van Horne, Judith Hubbard, Hiroshi Sato, Tetsuya Takeda and	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 23 日	国内

	Takaya Iwasaki			
陸上難地域地震探査記録に対するフルウェーブインバージョン適用とイメージング処理の高精度化（口頭発表）	新部貴夫，柾谷将吾，阿部進，松浦紳二，佐藤比呂志，石山達也	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 25 日	国内
2016 年倉吉-倉吉沖海陸統合地殻構造探査（口頭発表）	佐藤比呂志，石山達也，加藤直子，戸田茂，川崎慎治，藤原明，田中康久，阿部進	石油技術協会春季講演会（東京都）	平成 29 年 6 月 15 日	国内
背弧リフト系の構造に支配された北陸地域の活構造と地震発生様式（口頭発表）	石山達也，佐藤比呂志，加藤直子，越谷信，松原誠，阿部進	日本地質学会第 124 年学術大会（松山市）	平成 29 年 9 月 18 日	国内

２．４　陸域活構造調査

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
高分解能浅層反射法地震探査から明らかになった石狩平野の伏在活断層（口頭発表）	石山達也，加藤直子，佐藤比呂志，越谷信，戸田茂，阿部進	日本地球惑星科学連合 2018 年大会（千葉市）	平成 30 年 5 月 22 日	国内
深部・浅層反射法地震探査から明らかになった日高前縁盆地褶曲衝上断層帯前縁部の活構造（口頭発表）	石山達也，佐藤比呂志，加藤直子，阿部進	日本地球惑星科学連合 2018 年大会（千葉市）	平成 30 年 5 月 22 日	国内
Transfer fault earthquake in compressionally reactivated back-arc failed rift: 1948 Fukui earthquake (M7.1), Japan（口頭発表）	Ishiyama, T., Sato, H., Kato, N., and Koshiya, S.	European Geosciences Union General Assembly 2017（ウィーン）	平成 29 年 4 月 26 日	国際
Styles of active deformation and earthquake behavior of reactivated failed rift: examples from the Toyama trough, the Sea of Japan	T. Ishiyama, H. Sato, N. Kato, S. Koshiya, M. Matsubara and S. Abe	The 12 th Workshop of the International Lithosphere	平成 29 年 10 月 30 日	国際

back-arc basins（口頭発表）		Program Task Force VI Sedimentary Basins（キプロス）		
石狩低地における高分解能反射法地震探査（ポスター発表）	加藤直子，石山達也，佐藤比呂志，越谷信，戸田茂，阿部進	日本地球惑星科学連合 2018 年大会（千葉市）	平成 30 年 5 月 22 日	国内

２．５．１　断層モデルの構築

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Structural evolution of the Tsushima Strait, Southern Sea of Japan, and its role in active faulting.（口頭発表）	Johan Claringbould, Hiroshi Sato, Tatsuya Ishiyama, Naoko Kato, Shinji Kawasaki, Susumu Abe	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 23 日	国内
背弧リフト系の構造に支配された北陸地域の活構造と地震発生様式（口頭発表）	石山達也，佐藤比呂志，加藤直子，越谷信，松原誠，阿部進	日本地質学会第 124 年学術大会（松山市）	平成 29 年 9 月 18 日	国内

２．５．２　沿岸域の地震活動の把握

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Seismogenic Layer within the Crust of Japanese Islands on the Japan Sea side using JUICE catalog（口頭発表）	Yano T. E. and M. Matsubara	日本地球惑星科学連合 2017 年大会（千葉市）	平成 29 年 5 月 25 日	国内
Failed rift system in northern Honshu, Japan, imaged by improved seismic velocity structure using	Matsubara M. and H. Sato	IAG-IASPEI Joint Scientific Assembly（神戸）	平成 29 年 8 月 3 日	国際

offshore earthquake events（口頭発表）				
Shallow Moho along the failed rift on the coast of Japan Sea beneath Japanese Islands（ポスター発表）	Matsubara M. and H. Sato	IAG-IASPEI Joint Scientific Assembly（神戸）	平成29年8月3日	国際
Seismogenic layer within the crust beneath Japanese Islands on the Japan Sea side - application of JUICE catalog（口頭発表）	Yano T. E. and M. Matsubara	IAG-IASPEI Joint Scientific Assembly（神戸）	平成29年8月3日	国際
Seismogenic Layer within the Crust beneath Japanese Islands on the Japan Sea Side - application of JUICE catalog（ポスター発表）	Yano T. E., M. Matsubara	南カリフォルニア地震センター年次総会（パームスプリングス）	平成29年9月10日	国際
Deepest depth of seismogenic layer within the crust beneath Japanese Islands on the Japan Sea side using high resolved earthquake catalog and heat flux data（ポスター発表）	Matsubara M. and T. E. Yano	2017 American Geophysical Union Fall meeting（ニューオリンズ）	平成29年12月15日	国際

２．５．３　構成岩石モデルの構築

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
地殻構成岩石と活断層のすべり下限及び余震分布の関係：鳥取県西部地震、能登半島地震、新潟中越沖地震の例（ポスター発表）	石川正弘	日本地質学会第124年学術大会（松山市）	平成29年9月18日	国内
地殻構成岩石と断層すべり下限：日本海沿岸および周辺の例（ポスター発表）	石川正弘	地殻ダイナミクス全体集会（米子市）	平成29年9月24日-26日	国内

２．６　海溝型地震と内陸沿岸地震の関連メカニズムの評価準備

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Inland stress accumulation in the Southwest Japan arc due to interseismic coupling along the Nankai trough and slab rollback under the Ryukyu trench（ポスター発表）	Hashima, A., H. Sato, and T. Ishiyama	European Geosciences Union General Assembly 2017（ウィーン）	平成29年4月28日	国際
Fundamental structure model of island arcs and subducted plates in and around Japan -II（口頭発表）	岩崎貴哉，佐藤比呂志，篠原雅尚，石山達也，橋間昭徳，松原誠，雨宮由美	日本地球惑星科学連合2017年大会（千葉市）	平成29年5月24日	国内
2016年福島沖地震と2016年茨城県北部地震に対する2011年東北沖地震後の粘弾性緩和と余効すべりの効果（口頭発表）	橋間昭徳，佐藤比呂志	日本地球惑星科学連合2017年大会（千葉市）	平成29年5月25日	国内
西南日本の応力蓄積に対する南海トラフの固着と琉球海溝のスラブ後退の効果（口頭発表）	橋間昭徳，佐藤比呂志，石山達也	日本地震学会2017年度秋季大会（鹿児島市）	平成29年10月27日	国内

３．１　津波予測

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
Fault slip distribution of the 2016 Fukushima earthquake estimated from tsunami waveforms（ポスター発表）	Aditya Gusman, Kenji Satake, Masanao Shinohara, Shin'ichi Sakai, Yuichiro Tanioka	日本地球惑星科学連合2017年大会（千葉市）	平成29年5月24日	国内
Seafloor displacement of the 13 November 2016 New Zealand earthquake	Aditya Gusman, Kenji Satake, Endra	IAG-IASPEI Joint Scientific Assembly	平成29年8月2日	国際

estimated from tsunami waveforms and GPS data（口頭発表）	Gunawan	（神戸）		
Tsunami data assimilation of hypothetical sea level data offshore Bali, Indonesia（口頭発表）	Aditya Gusman, Kenji Satake, I.E. Mulia and Takuto Maeda	International Tsunami Symposium 2017（インドネシア）	平成29年8月21日	国際
Fault slip distribution and tsunami simulation for the 2016 Fukushima normal faulting earthquake（口頭発表）	Aditya Gusman, Kenji Satake, Masanao Shinohara, Shinichi Sakai, Yuichiro Tanioka	日本地震学会2017年度秋季大会（鹿児島市）	平成29年10月25日	国内
福井県沖～鳥取県沖の海城活断層による日本海沿岸部の津波高（ポスター発表）	Gusman, A.R., 佐竹健治，室谷智子，石辺岳男	日本地震学会2017年度秋季大会（鹿児島市）	平成29年10月25～27日	国内
Fault slip distribution and optimum sea surface displacement of the 2017 Tehuantepec earthquake (Mw 8.2) in Mexico estimated from tsunami waveforms（口頭発表）	Gusman Aditya	第7回巨大津波災害に関する合同研究集会（仙台市）	平成29年12月8日	国内
Fault Slip Distribution and Optimum Sea Surface Displacement of the 2017 Tehuantepec Earthquake in Mexico (Mw 8.2) Estimated from Tsunami Waveforms（ポスター発表）	Aditya Gusman, Kenji Satake and Iyan Eka Mulia	2017 American Geophysical Union Fall meeting（ニューオリンズ）	平成29年12月13日	国際

３．２　強震動予測

発表成果（発表題目，口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表場所（学会名等）	発表時期	国際・国内の別
微動アレイ探査による富山県内の堆積平野域の速度構	浅野公之，吉田邦一，宮腰	日本地球惑星科学連合2017年	平成29年5月24日	国内

造の推定（口頭発表）	研，大堀道広，岩田知孝	大会（千葉市）		
山陰地方西部の堆積平野における微動探査（ポスター発表）	浅野公之，吉田邦一，宮腰研，大堀道広，岩田知孝	日本地震学会2017年度秋季大会（鹿児島市）	平成29年10月26日	国内

○　学会誌・雑誌等における論文掲載

１．１　防災教育に対する知識構造的アプローチ

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
地震発生確率とリスク認知―地震動予測地図の確率表現に関する調査研究（査読論文）	齋藤さやか，関谷直也	『地域安全学会第論文集31号』pp.49-57.（地域安全学会）	平成29年11月	国内

１．２　沿岸防災手法の工学的評価

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
修正ブシネスク方程式による堤防越流モデルの構築	森智弘，下園武範	土木学会論文集B2	平成29年11月	国内
広域リスク評価に向けた津波浸水予測手法の構築	東崚太，下園武範，山中悠資	土木学会論文集B2	平成29年11月	国内
日本海沿岸北部の港湾都市における地震の不確実性を考慮した津波ハザード評価	小島裕一，下園武範，佐藤慎司	土木学会論文集B2	平成29年11月	国内
Non-hydrostatic modeling of coastal levee overflows	T.Shimozono, H. Ikezawa, S. Sato	Proceedings of Coastal Dynamics 2017. 1606-1615	平成29年6月	国際

２．１．２　津波堆積物の調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Reconstruction of tsunami history based on event	Urabe Atsushi	Quaternary International,	平成29年10月	国際

deposits in the Niigata area, eastern coast of the Sea of Japan		vol.456, p.53-68.		
北海道太平洋岸の津波堆積物研究	髙清水康博	地質学雑誌, 123, 805 - 817.	平成29年10月	国内
日本海東縁の津波とイベント堆積物	川上源太郎，加瀬善洋，卜部厚志，髙清水康博，仁科健二	地質学雑誌, 123, 857 - 877.	平成29年10月	国内
日本各地の多様な津波堆積物	髙清水康博，後藤和久，菅原大助，藤原治，川上源太郎	地質学雑誌, 123, III-IV.	平成29年10月	国内

２．２．１　沖合構造調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Crustal characteristic variation in the central Yamato Basin, Japan Sea back-arc basin, deduced from seismic survey results	Takeshi Sato, Tetsuo No, Seiichi Miura, Shuichi Kodaira	Tectonophysics	平成30年2月15日	国際

２．３　沿岸海域および海陸統合構造調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Structures and active tectonics of compressionally reactivated back-arc failed rift across the Toyama trough in the Sea of Japan, revealed by multiscale seismic profiling.	Tatsuya Ishiyama, Hiroshi Sato, Naoko Kato, Shin Koshiya, Susumu Abe, Kazuya Shiraishi, Makoto Matsubara.	Tectonophysics	平成29年	国際
Geometry and slip rates of active blind thrusts in a	Tatsuya Ishiyama,	Tectonophysics	平成29年	国際

reactivated back-arc rift using shallow seismic imaging: Toyama basin, central Japan.	Naoko Kato, Hiroshi Sato, Shin Koshiya, Shigeru Toda, Kenta Kobayashi.			
北部フォッサマグナ地域における後期新生界の褶曲-断層帯の構造と形成史	池口直毅, 佐藤比呂志	石油技術協会誌	平成29年	国内

２．４　陸域活構造調査

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Geometry and slip rates of active blind thrusts in a reactivated back-arc rift using shallow seismic imaging: Toyama basin, central Japan	Ishiyama, T., Kato, N., Sato, H., Koshiya, S., Toda, S., and Kobayashi, K.	Tectonophysics	平成29年10月30日	国際

２．５．２　沿岸域の地震活動の把握

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
Three-dimensional seismic velocity structure beneath Japanese Islands and surroundings based on NIED seismic networks using both inland and offshore events	Matsubara, M., H. Sato, K. Uehira, M. Mochizuki, and T. Kanazawa	Journal of Disaster Research	平成29年10月1日	国内

２．５．３　構成岩石モデルの構築

掲載論文（論文題目）	発表者氏名	発表場所（雑誌名等）	発表時期	国際・国内の別
岩石の弾性波速度に基づく島弧地殻深部及び最上部マントルの構成岩石の推定：伊豆弧と東北本州弧	石川正弘	地質学雑誌, 123巻, 355-364頁	平成29年6月	国内

○　マスコミ等における報道・掲載

日本海地震・津波調査プロジェクト　全体

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関（新聞名・TV 名）	発表時期	国際・国内の別
TeNY 報道特番 記憶 その先へ　中越沖地震から10 年	篠原雅尚	テレビ新潟	平成 29 年 7 月 16 日	国内

１．３　地域研究会・合同地域研究会の実施

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関（新聞名・TV 名）	発表時期	国際・国内の別
地域防災フォーラム 地震発生後、数分で津波が…日本海側の津波防災を学ぶフォーラム	佐藤比呂志，関谷直也	北日本放送	平成 29 年 8 月 29 日	国内
日本海側、津波の特徴学ぶ 富山で防災フォーラム	佐藤比呂志，関谷直也	北國新聞	平成 29 年 8 月 30 日	国内
日本海側の津波学ぶ 富山で地域防災フォーラム	佐藤比呂志，関谷直也	富山新聞	平成 29 年 8 月 30 日	国内
地震・津波素早く避難 富山防災フォーラム	佐藤比呂志，関谷直也	北日本新聞	平成 29 年 8 月 31 日	国内
新たな津波想定対応を議論	篠原雅尚	NHK 北海道 NEWS	平成 29 年 10 月 3 日	国内
日本海沿岸の津波防災学ぼう 18 日、余市でフォーラム	佐藤比呂志，関谷直也	北海道新聞社	平成 30 年 3 月 14 日	国内
津波防災 心構え説く 余市東大地震研などフォーラム	佐藤比呂志，関谷直也	北海道新聞社	平成 30 年 3 月 19 日	国内
津波避難 地域で考える 余市で井戸端会議 識者招き意見交換	佐藤比呂志，関谷直也	読売新聞	平成 30 年 3 月 20 日	国内

２．３　沿岸海域および海陸統合構造調査

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関（新聞名・TV 名）	発表時期	国際・国内の別
道内日本海側で断層調査 7 月から文科省 札幌周辺の伏在断層も	佐藤比呂志	北海道新聞	平成 29 年 4 月 14 日	国内
東大地震研、道央の地下構造調査 石狩市―夕張市間の 68 キロ	佐藤比呂志	北海道新聞	平成 29 年 6 月 29 日	国内